学校番号	３１８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字や平仮名の成り立ちを学び、楷書体や行書体、仮名を学習し、自分らしい表現を身に付けましょう。
・“芸術”としての書道という観点から、自己の作品について文章および言葉で表現する活動も行います。意図を持って制作を行いましょう。また、他者の作品の鑑賞と作品の解説を聞く活動を通して、多様性に対する理解を深めましょう。
・身近に飾ることのできる作品を主体的に制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育みましょう。

２　学習の到達目標

・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書道の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典作品の学習を通して、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表現することができている。 ・書の表現の方法や形式の学習を通して、書表現の多様性について理解を深め、書の創造的活動を行うことができている。	・古典作品の学習から学んだ、効果的・創造的に表現するための技能を用いて、意図に基づいた創造的で個性豊かな表現を工夫している。 ・にじみやかすれ、余白の変化など、小中学校「書写」とは違う「書道」の芸術性について理解を含め、書の美について思考し、表現を工夫している。	・書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ・自己および他者の作品についての評価を主体的に行い、自己の創造的な活動に活かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	楷書作品の臨書 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑	a:楷書の古典作品の特徴的な筆遣いを理解している。また、作品制作の形式を理解し、作品制作を行えている。 b:様々な古典作品の特徴的な筆遣いの共通点相違点をそれぞれ理解し、表現している。 c:古典作品に関心を持つとともに、その特徴について主体的に観察し、表現しようとしている。	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・授業プリント ・レポート課題 ・振り返りシート
		篆刻 ・名印	a:篆刻における作品制作の流れや、道具の特徴を理解している。また、押印の方法を理解し、正しく押印することができている。 b:　篆書体の特徴や篆刻における余白の効果を理解し、印稿の作成・布字・刻印を行っている。 c:篆刻に関心を持ち、主体的に活動に取り組むとともに、書の多様性について理解を深めることができている。	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・授業プリント ・レポート課題 ・振り返りシート
2学期	漢字の書	行書作品の臨書 ・蘭亭序 ・風信帖	a:筆遣いや字形など、楷書との違いを理解することができている。 b:点画の連続や連綿、筆脈について理解し、それらを表現するための技法について思考し表現することができている。また、線の太細の変化や余白の変化によって、文字の疎密を表現することができている。 c:楷書と行書の違いについて関心を持ち、その違いを意識して表現しようとしている。	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・授業プリント ・レポート課題 ・振り返りシート

	漢字仮名交じりの書	カレンダーの制作	a:漢字仮名交じりの書の表現の形式について、線質・字形・作品構成、それぞれの変化による効果を理解することができている。 b:古典作品の臨書を通して身に付けた表現技法を活用し、自己の内面を表現することができている。 c:自己の作品の言葉と表現の関係について、文章および言葉で表現することができている。また、他者の作品の鑑賞を通して、多様性を認めようとしている。	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・作品 ・授業プリント ・レポート課題 ・パフォーマンス課題	・授業プリント ・レポート課題 ・振り返りシート パフォーマンス課題
3学期	仮名の書	仮名の基本 古典作品の臨書 ・蓬萊切 ・高野切第三種	a:仮名の成り立ちやその技法、特徴について理解している。また、変体仮名や連綿などの仮名の書の美を構成する要素について理解している。 b:変体仮名の字形を理解し、表現することができている。また、仮名の繊細で美しい線を表現するための技法について思考し、表現しようと工夫することができている。 c:日本の書である仮名の書について関心を持ち、その技法だけでなく、芸術性について主体的に理解しようとしている。	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・作品 ・授業プリント ・レポート課題	・授業プリント ・レポート課題 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度